

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第52号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年2月15日（日） 12時25分ごろ	
発生場所	神奈川県横須賀港 横須賀港第1号灯浮標から真方位023° 270m付近（概位 北緯35° 18.7′ 東経139° 41.5′）	
事故等調査の経過	平成21年2月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A ミサイル駆逐艦 ^{ラッセン} LASSEN、9,200トン 不明、アメリカ合衆国 B モーターボート ^{スモモツ} SUMOMO II、14トン 235-42878東京、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、不明 B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 中央部左舷外板に擦過傷 B アウトリガー損傷、船首部き裂、右舷側外板欠落及び擦過傷、ハンドレール曲損等	
事故等の経過	A船は、船長Aほか260人が乗り組み、横須賀港内を基地に向けて西進中、B船は、船長B及び友人3人が乗船し、横須賀港内の水深約25mの場所で錨を投入して魚釣り中、平成21年2月15日12時25分ごろ、A船の左舷側船体とB船の船首等が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風速 約3m/s 海象：平穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、横須賀港内を基地に向けて西進中、B船に接近しすぎたため、B船と衝突した可能性があると考えられるが、米国軍艦であり、調査をすることができなかったことから、衝突の状況を明らかにすることができなかった。 B船は、錨泊中の形象物黒球を掲げずに錨泊して魚釣り中、汽笛と肉眼で接近するA船に気付いたが、A船がB船の船首方を通り過ぎて行くと思ひ込み、魚釣りを続けたものと考えられる。
原因	本事故は、横須賀港内において、A船が基地に向けて西進中、B船が黒球を掲げずに錨泊して魚釣り中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられるが、原因を明らかにすることができなかった。	